

子どもが本にふれあう機会を増やそう！



鶴岡市立図書館（本館）児童室

市立図書館は、0歳から利用することができます。絵本などさまざまな本を無料で借りることができます。



おはなし会をしています！

- 館内おはなし会
- 春・夏・冬のおはなし会

2QR

詳しくはこちら



おすすめの本のコーナー

赤ちゃんや読み聞かせにおすすめの本コーナーもあります。

鶴岡市立図書館本館 開館時間 9:30~19:00/9:30~18:00 (12~2月)/9:30~17:00(土日祝日)  
☎ 25-2525 休館日 月曜（月曜祝日は翌火曜）年末年始・特別整理期間

各地域の分館図書館どこでも本を借りることができます！おはなし会もしています。詳しくはお問い合わせください。

藤島分館  
【東田川文化  
記念館内】  
☎64-2537(代)

羽黒分館  
【羽黒庁舎内】  
☎62-2111(代)

櫛引分館  
【櫛引情報  
センター内】  
☎57-5681

朝日分館  
【朝日中央コミュニティ  
センターすまいる内】  
☎53-2111(代)

温海分館  
【温海ふれあい  
センター内】  
☎43-4411(代)

子どもと一緒に遊びに行ける施設にも本があります！

鶴岡市  
子ども家庭  
支援センター  
（ここ・ふる内）  
☎ 25-2741

4 写真  
内観

親子で利用できる自由来館型施設（無料）です。ふれあい遊びや読み聞かせもあります。また、育児相談も行っています。

藤島子育て支援センター  
☎ 64-2163（藤島児童館内）  
羽黒子育て支援センター  
「にこにこ広場」（貴船保育園内）  
☎ 62-2154  
朝日子育て支援センター  
「こいこいルーム」（朝日保育園内）  
☎ 58-1504  
子育て広場「まんまルーム」  
☎ 24-5635（マリカ東館内）

児童館

3QR

詳しくはこちら

遊びや本のコーナーがあります。読み聞かせのほか、さまざまなイベントを開催しています。

中央児童館 ☎ 24-4608  
西部児童館 ☎ 29-0031  
南部児童館 ☎ 64-1900  
陽光児童館 ☎ 64-8640  
大山児童館 ☎ 38-0260  
藤島児童館 ☎ 64-2163

KIDS DOME SORAI  
☎26-8801

0歳～小学6年生までを対象とした全天候型児童施設（有料）。ライブラリスペースもあります。

4QR

詳しくはこちら

致道ライブラリー  
☎29-0810

夏の自由研究時期には、参考になる「図鑑コーナー」企画展を開催しています。

5 写真

外観

本といっしょ  
～子どもの成長に合わせた読書のすすめ～

# 表紙メイン画

～読書の面白さ、大切さを知り、自ら本に親しむ子ども～  
第2次鶴岡市子ども読書活動推進計画 令和2年～令和6年度

読書は、学びであり、楽しみであり、知的好奇心を満たすものです。子ども時代に、宝物となるような本との出会いがあること、読書を通して心豊かで健やかに成長できることを願いこの計画をつくりました。子どもから大人まで多くのみなさんがこの計画に関わり、読書活動を推進していくことを目指したものです。

子どもと一緒に、おはなしを楽しみましょう

子どもと一緒に、絵本や本を読んでおはなしを楽しむということは、子どもとのふれあいの時間のひとつであり、子育ての楽しさを感じるひとときではないでしょうか。また、おはなしにふれることにより、想像力や言葉を育てるよい機会にもなります。

挿画1  
おなかにいる赤ちゃんへの読み聞かせするパパママの姿

挿画2  
乳幼児へ家族が読み聞かせをする姿

挿画3  
小学生の読書の姿

挿画4  
中高生と友だちとの読書の姿

対象とする枠（帯）の長さをかえました

深く考えるための読書 ～探究のために～

子ども時代の充実した読書体験が、生涯にわたる読書活動へつながっていきます。

子どもと一緒に絵本を楽しむ ～ふれあいながら読む～

空想の世界を楽しむ ～想像力を刺激し、より自分の世界を広げていく～

音やリズムを楽しもう ～わらべ歌や手遊びがおすすめ～

お話を楽しむ ～心と言葉を育てる～

生まれる前から

おなかの中で赤ちゃんは聞いています。  
今から語りかけ、絵本も読んであげてください。

0・1・2歳児

本との暮らしの始まる大切な時期です。読書（絵本）を通して、子どもとの心の交流ができる時間を持ちましょう。

3・4・5歳児

読書（お話）が好きになるための大切な時期です。大人がしっかり関わって好きな絵本を十分に楽しみましょう。

小学生

読書（お話）を楽しみ、様々な分野の本と出会い、自主的に読書ができるようになる時期です。それができるようになるまで、本と触れ合う機会をつくるなど、大人が十分に支援していくことが大切です。

中学生

心身ともに急激に成長し、生活環境も劇変します。また様々な要因から、読書離れする時期といえます。

大人からの働きかけも大切ですが、友達や同年代の人とのつながりからの読書に関する情報交換が有効です。  
※YAコーナー  
若い世代におすすめの本コーナーが、市立図書館にあります。

高校生

嗜好も一段と多様になり、将来の目標などを決める準備時期です。読書については、成熟期に入ります。

おとなになっても

読書は学びであり、楽しみであり、知的好奇心を満たすものです。大人も読書を楽しみ、また未来を担う子ども達と関わりながらともに推進していきましょう。

「赤ちゃんを楽しみたい絵本リスト」  
0,1,2歳児向けおすすめ絵本  
(市立図書館) 詳しくはこちらから

6QR

「児童室おたよりシャワー」(市立図書館)  
おすすめの本や「てあそび・わらべうた」  
など親子で楽しめる情報がいっぱい  
詳しくはこちらから

7QR

下線部は、少し太字または字体を変えるなど変化をつけたい箇所です（実際には下線はつけない）

計画の3つの柱

子どもの近くに  
本がある暮らし

子どもの近くに  
本の渡し手がいる暮らし

子どもの近くに読書活動を見守る人がいる暮らし

こんなときはどうするの？

Q 字が読めるようになったら自分で読ませたほうがいいのでしょうか。

A 字が読めることと、おはなしが楽しめることとは違います。また、子どもとのコミュニケーションのひとつとしても大切な時間となります。子どもが望むあいだは、読んであげましょう。

Q 読み聞かせが苦手です。上手に読んであげられません。

A 上手に読むことよりも、子どもの近くにいる大人が読んであげることが大切です。子どもが一番安心しておはなしが楽しめるからです。

Q 同じ本ばかり読みたがります。このままでよいのでしょうか。

A 心配いりません。子どもが満足いくまで読んであげてください。今、その子にとって必要な本ともいえます。お気に入りの本ができることは素晴らしいことです。

Q どんな本を読んだらいいですか。

A 昔話や物語、科学絵本など様々なジャンルの本を読んでみましょう。地域の図書館や書店、保育園・幼稚園、学校、児童館、子育て支援施設のほかに、飲食店、病院など街中にある本とふれあえる場を活用しましょう。